



国民春闘共闘

第21号

2018年3月16日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第1回賃上げ集計

単純 6,019 円・1.96%、加重 5,369 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は15日、前日の春闘集中回答を受け、第1回目の賃金改定集計を行いました。

<回答状況>

	2018年	2017年（同期）
登録組合数	818	823
回答引き出し組合数	189 (23.1%)	210 (25.5%)
うち金額・率の回答	137	145
うち「定昇確保」など言葉による回答	52	65
うち上積み獲得	15 (7.9%)	6 (2.9%)
うち妥結組合数	14 (7.4%)	17 (8.1%)

<回答内容>

集計方法&対象		2018年	2017年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	6,019	5,249	+770
	率（%）	1.96	2.04	-0.08
加重平均	額（円）	5,369	5,326	+43
	率（%）	1.86	1.91	-0.05
	組合員数	21,198	31,833	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
131	74 (56.5%)	51	23

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	131	6,039	5,990	+49
	率（%）	49	2.05	2.02	+0.03

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

3月15日の春闘集中回答日を受けた第1回集計には、13単産・部会から報告が寄せられました。

登録818組合のうち、集中回答日までに回答を引き出したのは189組合・23.1%で、このうち先行組合を中心に14組合(7.4%)が妥結しています。回答引出し率は前年の集中回答日翌日集計(2017年3月16日現在・25.5%)を若干下回りました。また、189組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が52組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は137組合となっています。

また、3月8日を回答指定日に設定したJMITUなど、回答引出し組合の7.9%にあたる15組合が2次回答以上と上積み回答を引き出し、14組合が妥結となっています。(妥結率7.4%)

回答内容

有額回答を引き出した13単産・部会137組合での単純平均(一組合あたりの平均)は6,019円・1.96%で、前年同期比770円増・+0.08%となっています。加重平均(組合員一人あたりの平均)は5,369円・1.86%で、前年同期(5,326円・1.91%)比43円増・-0.05%となっています。

最高額・率はJMITUの組合での30,000円・8.88%という回答を引き出した組合がありますが、賃金体系の変更の同時提案となっています。この回答を除くと、最高額は、出版労連の組合の12,550円、全農協労連の組合の3.88%が最高となっています。11組合が1万円以上を勝ち取り、7組合で3%を超える引上げとなっています。

同一組合での対比が可能な131組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は6,039円で、前年実績を49円上回っています。率では49組合の比較で、2.05%と0.03%の改善となっています。そうした中、56.5%の組合が前年実績以上の回答を引き出しています。

初回集計での回答水準は生活改善に向けた切実な要求に対して十分な回答とはなっていませんが、そうした中でも統一闘争に固く結集し、成果を勝ち取っている組合も少なくありません。要求をあきらめずに粘り強く上積み勝ち取るたたかいを進めていきましょう。

非正規で働くなかまの賃上げ状況・最賃協定など

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、建交労、生協労連、日本医労連の3単産66組合から100件の成果獲得の報告が寄せられています。時給制労働者では、引上げ額で54件の平均で18.2円となっています。

引き続き、均等待遇の実現に向けて奮闘が求められています。

**安倍9条改憲・労働法制改悪NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**